

秘仏

Moriver

先行

御開帳

開山1300年と悠久の歴史を誇る
寒河江の慈恩寺。

国指定重要文化財をはじめとする
秘仏の数々が御開帳され、
「日本の宝」が時空を超えて
静かに語りかけます。



木造如来坐像 [山形県指定有形文化財]
三尊形式の中尊で、子どものような顔が大変珍しい。左手はひじと手首の間の平ばから、右手は肩の付け根からなく、また両腕の部分も欠けてなくなっていたため、顔名を明らかにできない。材質はヒノキで、新発見(ありはぶづり)、彫刻の像。慈恩寺の秘仏の中で最も古いものと認められる像で、両手・両脚部などの修理後、今回の御開帳で初めて公開される。

悠久の歴史が息づく古刹として全国に知られる、寒河江市の慈恩寺。今年6月から7月中旬にかけて、開山1300年と寒河江市制施行60周年を記念し、さらに山形デスティネーションキャンペーン(DC)にあわせて、「秘仏御開帳」が行われます。

慈恩寺は、国指定重要文化財32件を現代に伝えますが、その多くは一般には公開されていません。今回は、平成4年に山形県を会場に開かれた「べにばな団体」以来、今世紀初の御本尊を含めた「秘仏御開帳」とあって、期待も高まっています。東北屈指の至宝といわれるその貴重な仏像を、「足先に「Moriver」誌上でご紹介しましょう。

寺伝によれば、諸国を巡っていた高僧行基が神亀元年(724)にこの地を訪れ、すぐれた景色を見て、都に帰ると聖武天皇に奉上、勅命によって天平18年(746)、インド僧繁羅門僧正が開山したのが慈恩寺のはじまりと伝えられています。

平安初期には法相宗の寺院で、その後、天台宗や真言宗、修験道、時宗などが入り、「宗に統一」することなく、出羽国における仏教の情報集積地として認知されてきました。

かつては広大な寺域に3院48坊からなる一山寺院で、江戸時代には幕府から関東以北の寺領として最大の

◎仏像の役割と種類



如来 解脱を指す偉大な名目のひとつ。

菩薩 成仏を求め、人々を導く修行者。

明王 仏の教智を身につけ、教えを強化させる存在。

天 菩薩や如来の活動を拜魔する事を退治する神々。



木造菩薩坐像 [山形県指定有形文化財]
平安後期の菩薩像で、像高21~22センチの小像。両腕が欠けてなくなっているため、菩薩像の尊名を明らかにすることはできないが、手の位置から見て薬師如來三尊像の観音菩薩であったろうといわれている。やや腰を浮かした「大和座り」の像は非常に珍しく、これに立ち上がり、浄土に向かう者に「さあ迎えに来ましたよ」と身を乗り出して語りかける姿を表したもの。

2812石余を与えられ、東北随一の巨刹として栄えたといえます。

明治維新後は新政府によって寺社領を没収され、一山は3院17坊に、昭和47年に慈恩寺となり、本山慈恩寺を名乗るようになりました。

慈恩寺には多くの仏像や寺宝がありますが、平安末期から鎌倉中期にかけての仏像群は京都の貴族文化の流れをくみ、世界遺産に登録された平泉中尊寺に匹敵する日本の仏教美術の至宝といわれています。

中でも、このたび公開される御本尊の木造弥勒菩薩坐像は、国の重要文化財に指定された貴重なもの。永仁6年(1298)、法橋寛慶によってつくられました。未来仏の弥勒菩薩を中心に、脇侍として現在仏の地藏菩薩、過去仏の釈迦如来、それに不動明王と降三世明王を加えた、国内でも珍しい五尊形式です。

また、慈恩寺の仏像の中で最も古いと思われる、山形県指定文化財になっている木造如来坐像が、欠けてなくなっていた両手・両脚部などの修理後初めて公開されます。

さらに、平安後期の仏像で、高さが20センチほどの可憐な木造菩薩坐像(県指定文化財)など、今世紀初公開の秘仏も、時空を超えて、数々の秘仏に出会えるのも、悠久の歴史を誇る慈恩寺ならではのといえるでしょう。

国の重要文化財など

慈恩寺の秘仏70体を公開

22年ぶりに公開される
御本尊の弥勒菩薩坐像や
今世紀初公開の菩薩坐像も

〈Moriver編集部〉 慈恩寺の
役員を務める菅原真さんに、「秘仏
御開帳の見所などを伺いました。」



十二神将(鎌倉時代)右から千支の順に並び、龍師如来をお守りしている圓通神 (写真右)慈恩寺 役員 菅原真さんと

「秘仏御開帳」の内容についてお聞
かせください。

菅 22年ぶりに公開する御本尊の木
造弥勒菩薩坐像をはじめ、修理後初
となる木造如来坐像、今世紀初公開
の木造菩薩坐像など、慈恩寺の宝と
いえる70体の秘仏を公開します。

— 慈恩寺の秘仏の特徴は？

菅 慈恩寺には平安・鎌倉・室町時
代の仏像があり、幅が広いんですね。
年代につれて様式が変わってきまし
た。仏師によっても表情が違います。
たとえば、鎌倉時代に入ると武家社
会になりますから、仏像の目もつり
あがって力強さがでてきます。そうし
た違いがよくわかるんですよ。

こちらの薬師如来、日光菩薩・月
光菩薩の薬師三尊と、護法神の十二
神将も国の重要文化財に指定されて
います。鎌倉時代のもので、躍動的な
十二神将は全国的にも第一級ですよ。
頭に千支がついていますが、昔は千支
は時間を表していて、薬師如来を24
時間お守りするという意味があるん
です。即神将と曰神将は、ワシントン
で開かれた国際彫刻展に日本を代表
して展示されたんですよ。

仏像それぞれの役割 印や持ち物の意味を知り より深く拝観を

— 仏像を拝観するにあたって、何か
ポイントなどはありますか。

菅 静かに仏像と向き合うことで、
おのずと心の中に感じるものがある
と思いますので、それが自分自身の心
のありようを見つめ直すことに繋が
るのではないのでしょうか。

仏像にはそれぞれ役割があり、そ
れに応じて多くの種類があるんです
ね。大きく分けると上から「如来・普
薩・明王・天」の順になります。

手の形の印相、持ち物などにも一つ
一つに意味があつて、右手の手のひら
を正面に向けて左手を下におろした
形は「与願印」といって、「あなたの願

代表的な仏像の五印



施无畏印(せいむいいん)
不安や恐れなどの感情を取り除き、
人々の安心させる意味がある。



作観印(しずんいん)
人々の願いや苦悩を聞き、迷ひの
も取り除くという意味を持つ。



持杖印(こうしゅいん)
「善よ、善よ」と問答も受け取る意味を持つ。



作観印(しずんいん)
釈迦が悩み苦しむ人々に善の力を伝えたときの手の形。



作観印(しずんいん)
心も静めて瞑想に入るときの手形。
釈迦が修行を始めたときの手の形とされる。

整備したり、準備を進めています。
今年山形DCの年でもあり、開
催期間はずっとさくらんぼの季節
ですから、地元の方はもちろん、多く
の県内外の方たちに、ぜひ慈恩寺の
宝をご覧いただきたいですね。

— 一足先に拝観して、慈恩寺の秘仏
の素晴らしさに感動しました。御開
帳を楽しみにしています。



奉還指定重要文化財(鎌倉時代)
御本尊 木造弥勒菩薩坐像(みろくぼつざざう)
永仁6年(1298)、法橋実慶によって建立。胎内に印仏、蘇文が多数納入
されていた。弥勒菩薩を中心に、脇侍として地藏菩薩と釈迦如来、不動明
王と降三世明王を加えた、国内でも珍しい五尊形式となっている。



奉還指定重要文化財(平安時代)
新羅文菩薩菩薩(しんらかんぼつざざう)及
胎持像(たもちぞう)
本像は五尊像で、文徳菩薩のほか
薬師王(うてんのう)、龍尊(りゆうそん)
老人、仏陀波利三蔵(ぶたはりさんぞう)、
善財童子からなるが、胎
持中には善財童子がない。

歴史的価値ある慈恩寺を 地域の宝から「日本の宝」に

慈恩寺の歴史的価値を
全国に広めるため
国史跡指定をめざして

〈Moriver編集部〉 寒河江市
では、平成22年から慈恩寺の国史跡
指定をめざす取り組みを進めていま
す。その推進委員会委員長の宇井啓
さん、慈恩寺「悠久の魅力」向上プロ
ジェクト委員長の大沼保義さん、寒
河江市商工会青年部の木村洋祐さ
んに活動についてお聞きしました。



慈恩寺国史跡指定推進委員会
委員長 宇井啓さん

宇井 国の史跡は「日本の歴史を理
解するのに非常に貴重な場所」とい
えます。県内では、左沢楯山城など26
か所が国史跡に指定されました。

慈恩寺は、建造物や仏像群、古文
書群はもちろん、広大な寺領に堂舎
や城垣、修験行場が整備され信仰の
山として栄えていた二山寺院で、さま
ざまな調査によって歴史的価値が非
常に高いことがわかってきました。

大沼 その寒河江の宝を「日本の宝」
にと、平成22年につくられた新第5
次寒河江市振興計画で、「慈恩寺の
「悠久の魅力」向上」が重点プロジェ
クトの一つになったんですよ。

それで、推進委員会や学術的な調
査研究を行う調査検討委員会を設け
て、国史跡指定をめざしてきました。
慈恩寺のすばらしさを、市民の皆
さんはもとより県内外の多くの方に
知っていただく……ということところか

らスタートしたんですよ。

— 国史跡になるメリットは？

宇井 慈恩寺の価値が全国規模で
認められて知れ渡りますし、史跡保
全や環境の整備については、国の支援
も受けられるようになります。

大沼 国史跡慈恩寺を活かしたまち
づくりで、観光の振興や地域の活性
化にも繋がると考えているんですよ。



慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト
委員長 大沼保義さん

「悠久の魅力」を 市民自身が再発見し 県内外へ広く情報発信

— 具体的な活動をご紹介ください。

大沼 昔は一山の地域全体が慈恩寺
とともにあったわけですが、それを知
らない市民の方も多くなりました。

そこで、市民から慈恩寺の価値を
再発見しようと、シンポジウムや学習
会、コンサート、花火大会などを開い
て情報発信してきました。一時は途絶
えた慈恩寺遊を復活したり、彼岸花
を活かした茶会を開いたり、さまざま
な活動をしているんですよ。



木村 商工
会の青年部で
も、慈恩寺を
テーマに、「だ
いごろうと六
地藏」など2
冊の絵本をつ
くりました。

その六地藏を実際に親子で巡る
ウォークラリーも行ったんですよ。

「ふるさとCM大賞」でも、慈恩寺
地区の方に出演してもらった。若がえ
り進行」が大賞となり、その次の年には
十二神将をテーマにして音楽賞を
受賞しました。

寒河江には全国に誇れるこんなす
ばらしい文化がある……と子どもたち
に伝えて残していきたいですね。

それに、山形DCの年で、寒河江を
全国にアピールする絶好の機会です
から、慈恩寺の国史跡指定を起爆材
に、活気あるまちにしていきたいと
思っています。

大沼 かつての慈恩寺一山の様子を
再現したCGをつくって、映像で紹介



慈恩寺山門(山形県指定重要文化財)
慈恩寺山中蔵古の建造物。欄干形式の山門で四隅には仁王像が安置されている。

— 国史跡指定の現在の状況は？

宇井 慈恩寺総合調査報告書や地
図、地域の方の同意書を添えた史跡
指定申請書を、県の教育委員会を通
して文化庁に提出したところです。

今後は、文化庁が文化審議会へ諮
問して、審議会から文部科学大臣へ
答申。その後、大臣による国史跡指定
となるんですよ。

大沼 ただ、国史跡指定はゴールで
はなく出発点ですから……。慈恩寺
を地域の宝、日本の宝として次の世
代に受け継いでいくために、これから
も力を尽くしていきますよ。

— 国史跡指定に期待しています。本
日は、ありがとうございます。



寒河江市商工会青年部
相談役 木村洋祐さん